

令和2年度エイズ予防財団助成事業実績報告書

実施団体	IFMSA-Japan SCORA (国際医学生連盟 日本 性と生殖・AIDSに関する委員会)	
実施事業名	STI Prevention Project	
団体代表者	代表 高橋卓也(令和3年度)/久世瑞穂(令和2年度) SCORA責任者 中谷和徹(令和3年度)/田中文那(令和2年度)	
事業の目的	未来の医療者である医療系学生に対して、HIV/AIDSをはじめとするSTIについて、その社会的背景や患者の抱える問題なども含めた正しい(教科書的ではなく、経験に基づく)知識を身につけ、考える機会を提供する。また、自分達自身がSTIの主要な罹患年代である若年層の一員として、HIV/AIDSをはじめとするSTIの予防について学び、周囲の同じ若年層の友人達へ向けて啓発活動を行うとともに、自身でも予防活動を実践する。	
事業の達成度	今年度は新型コロナウイルスの影響ですべての活動がオンライン媒体であるSNSやZoomを利用したものとなりました。この状況からイベント参加者や情報の受け手に身近なものとして性感染症を捉えてもらうことが困難なのではないかという懸念がありました。 イベント参加者の声として、夏休みキャンペーンでは「若者のSTIやその検査についての知識不足から生じる不安や恐怖心を払拭し、早期発見・早期治療することの大切さを学べた」という声を得ることができました。また、SCORAフェスでは「かつて「死の病」と言われていたAIDSが、現代では治療によって当たり前の生活を送れるということを知ることができた」という声が聴かれました。これらのことからまずはHIV/AIDSをはじめとする性感染症についての基本的な情報を提供し、考える機会を提供するという目標は達成できたのではないかと考えます。また、SCORA総会は患者の実体験をもとに自分とパートナーとの関係に落とし込んで考えてもらい、自分事として捉えてもらうことができました。しかしこれは医療系学生を中心としたSCORAスタッフが主であるイベントの参加者の感想であり、外部発信の要であるFacebook やInstagramといったSNSの投稿リーチ数はまだ増やす余地があると考えます。引き続き新規スタッフへの正しい知識の提供、そして学んだ知識を外部に発信することを促していく必要性を感じました。	
事業実績	対象となった人数(実質)	<ul style="list-style-type: none"> ①夏休みSTI早期発見キャンペーン 18名 ②SCORAフェス 約60名 ③World AIDS Day Online Campaign Facebook 投稿リーチ数のべ634件、Instagramいいね数のべ81件 ④防ごう、性感染症。守ろう、大切なパートナー 30名 ⑤SCORA総会 のべ約40名 ⑥オンライン勉強会 SCORAスタッフのべ約200名
	具体的な活動内容	<p>①夏休みSTI早期発見キャンペーン 実施日:2020年7月27日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・STIやその検査について学び、理解を深める ・検査に行く、敷居を下げる ・STI検査を必要とする人たちの気持ちや社会的背景を考える <p>この3つを「学生のうち」に達成するためにWeb会議システムZoom(以下、Zoom)でキャンペーンを行いました。今年度は、保健所の性感染症検査がどのように行われているのかについてのレクチャー、STI検査の敷居を下げるためのロールプレイ、性に関する緊急措置についてのディスカッションをZoomにて行いました。性感染症検査については、COVID-19の流行もあることから「自宅検査キット」の紹介を交えながら今の時代に合った検査方法をレクチャーを行い、検査の敷居を下げるためのロールプレイではクイズ形式と劇を織り交ぜ、STI検査を受けることの重要性や性感染症は治療可能な感染症であるということを参加者に学んでもらいました。性に関する緊急措置についてのディスカッションでは、オンライン診療や、コロナ禍に中高生の妊娠相談件数が増加したという時事問題について話し合いました。</p> <p>②SCORAフェス 実施日:2020年10月16日～18日</p> <p>SCORAフェス2020年度新たな試みとして実施したイベントで、SCORAの3つのプロジェクト(Rainbow Flag Project・Peer Education Project・STI Prevention Project)が1日交替でワークショップを実施しました。STI Prevention Projectは「どれくらい知ってる？ HIV/AIDSのこと」をテーマにイベントを行いました。12月1日のワールドエイズデーに向けて、HIV/AIDSに関心を持ってもらうこと、そしてHIV/AIDSなどの性感染症をより身近に感じてもらうためにこのテーマを設定しました。そのために、私たちは、自分たちの将来を想像しながらHIV/AIDSをはじめとする性感染症について考え、HIV/AIDSとともに生きる人の気持ちを理解することをサブテーマとしました。</p> <p>まず、1つ目のワークショップでは、参加者同士で自分がどの時期に結婚・妊娠・出産をしたいのかなど「ライフプラン」を共有しました。さらに、自分が立てたライフプランの中で、自分がHIVに感染したらどのような行動をとるべきなのか、もし、パートナーや友人、知り合いの先輩など自分の周りの人がHIVに感染したり、HIV陽性者であるとカミングアウトされたりしたらどうしていくのか、ということについてもディスカッションしました。</p> <p>2つ目のワークショップではHIV陽性患者の実体験に基づく動画を視聴し、1つ目のワークショップと関連付けて、治療に向き合いながらHIV/AIDSと共に生きる感染者の思いについて、補足説明(レクチャー)とディスカッションを行いました。感染者を自分の立場に置き換えて「生活の場」を主体として話し合いを行う中で、にHIV/AIDSと共に生きる方々の苦労や、社会からのHIV/AIDSに対する認識について理解を深めることができました。</p>

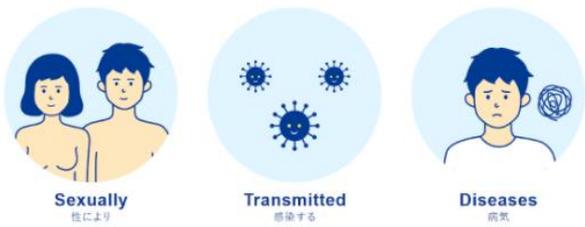
具体的な活動内容

- ③World AIDS Day Online Campaign 投稿日:2020年12月3日
HIV/AIDSの「基礎知識」・「歴史」・「予防法と治療」について扱いました。HIV/AIDSの基礎知識について、そもそもHIV/AIDSがどんなウイルスなのか、ウイルスに感染すると体内でどのようなことが起きているのかなど医療の視点で記事を書きました。HIV/AIDSの歴史に関しては「U=U」というワードを取り上げ、HIV陽性者およびAIDS患者への差別をなくすためのメッセージについて紹介しました。その記事の中で、過去の歴史において起こったAIDSパニックや、AIDS患者らが就業によって差別を受けること、激しいバッシングを受けたりやプライバシーを侵害されることなど、人権に関わる問題について触れながら、HIV陽性者・AIDS患者に対する正しい理解と無意味な差別をなくすためのメッセージを発信しました。HIV/AIDSの予防法と治療については、コンドームの正しい使用とHIV予防内服薬の紹介をしました。HIV予防内服薬では、PrEP、PEP、On demand PrEP、Daily PrEPのそれぞれの効能や副作用、服薬管理について説明しました。
このオンラインキャンペーンでのインフォグラフィック・記事の作成を通じて、HIV/AIDSに関する正しい知識と理解の普及をすべく活動に参加することができました。また、医療的側面だけでなく、スティグマなどのSTIと社会的背景を理解することができました。
- ④防ごう、性感染症。守ろう、大切なパートナー。
2020年はオフラインでのコンドーム配布が叶わなかったため、STI予防・啓発活動の一環として希望者に対してコンドーム配布を行いました。コンドームの配布と共に、コンドームケース・STI検査に関する資料を送付しました。この活動を行なった背景に、2020年に開催したイベントに参加したスタッフやSCORAに所属する医療系学生であっても「コンドームに触れたことがない」という意見がありました。そこから、コンドームを正しく扱いSTIを予防していくためにも必要であるということを確認し、郵送ではありますがリモートコンドーム配布に踏み切りました。この活動を通じて、コンドーム・コンドームケース・STI検査に関するチラシを30個配布することができました。
- ⑤SCORA総会 実施日:2021年3月20日,21日
SCORA総会はIFMSA-Japanスタッフを対象としたSCORAの1年間の活動を締めくくるイベントです。SCORAにある3つのプロジェクトがそれぞれテーマを定め、ワークショップを実施しました。STI Prevention Projectは性感染症患者と人権について考えるワークショップを実施しました。レクチャーでは性感染症の基礎知識について確認を行い、グループディスカッションではHIV陽性患者の実体験をもとに、自分のパートナーがHIV陽性だとわかったらどう思うか、どんな行動をするか、について意見交換を行いました。
- ⑥オンライン勉強会(全13回)
SCORAではスタッフの知識向上を主な目的としたオンライン勉強会を行っています。この勉強会では1時間半～2時間程度で、スタッフが興味関心があることをテーマとして取り扱います。2020年度はMSMとHIV/AIDSの関係について、や、戸籍上の性、パートナーシップ制度、性的合意・パートナーとのコミュニケーションなどの様々なテーマを扱いました。

別紙：活動の様子

性感染症(STI)とは...?

性感染症(STI)とは**性行為**により感染する病気のこと。
膾性交だけではなく口腔性交、肛門性交でも感染する。



コロナウイルス流行で
10代(小学生も)の妊娠相談件数増加

休校で毎日恋人に会える
バイトが出来ず援助交際
自粛ストレス、認められたい願望
性的知識不足

夏休みキャンペーンで使用したスライドの一部

SCORA フェス 2020 @Zoom

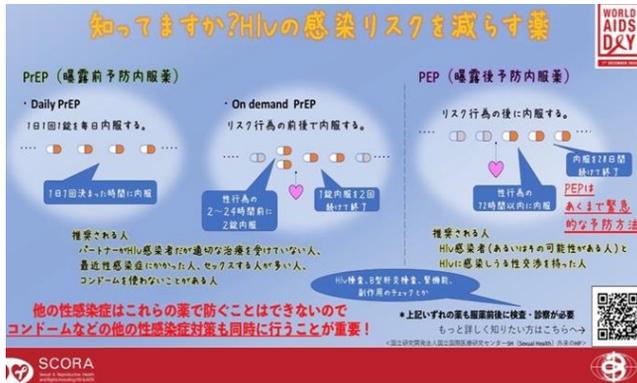
活動報告

#1
10.16 Fri 22:00~24:00
「どれくらい知ってる? HIV/AIDSのこと」
Presented by
STI Prevention Project (鈴木)

#2
10.17 Sat 22:00~24:00
「性の多様性について」
Presented by
Rainbow Flag Project (四方)

#3
10.18 Sun 22:00~24:00
「大学生向け性教育」
-大切な人たちとの関係の築き方-
Presented by
Peer Education Project (永井)

SCORA フェス実施報告で投稿した画像



World AIDS Dayで投稿した画像の一部

<SCORA コンドームケースデザイン>



配布したコンドームケース・チラシ

SCORA関連Webページ
 IFMSA-Japanホームページ： <https://ifmsa.jp>
 SCORA Facebookページ： <https://www.facebook.com/scorajapan/>
 SCORA Instagram： <https://www.instagram.com/scorajapan/?hl=ja>